



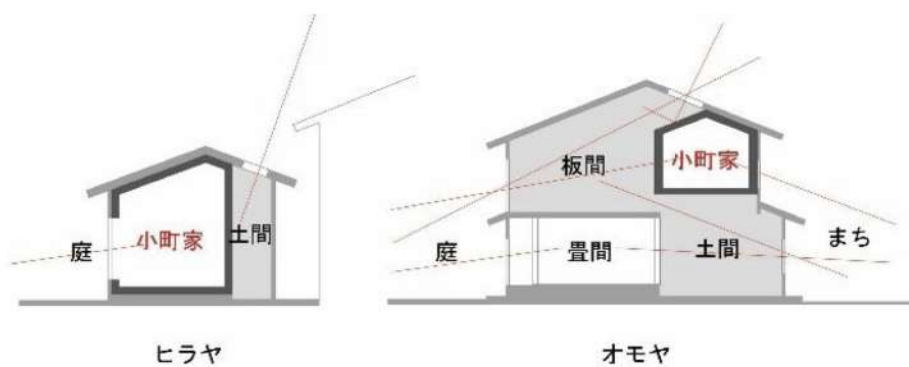
街に開かれた表土間。表土間はもともと畳間であったが、今回の改修で床を落として土間とした。中間領域としての下階の土間と上階の板間との繋がりをもたせるために、2階の床を浮き床としている。



居間、食堂、台所を見る。敷地の傾斜に馴染ませるように床を段床とした。もともと縁側であった中庭側の柱と外壁の間の空間も居間、食堂、台所と一体化した。



2階の小町家を見る。入れ子状に既存の大きな町家の中に、断熱された床、壁、屋根をもつ現代的な小町家を配置した。中間領域としての板間は、小屋裏を現しとすることで既存の大きな町家の骨格を顕在化させつつ、土間と同様に半屋外空間としている。



オフセット町家の概念図。入れ子状に、既存の大きな町家の中に断熱された床、壁、屋根をもつ現代的な小町家を配置した。

撮影： 富田英次 2017 年